

緑友

No. 46

1980年8月1日発行

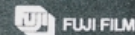
題字 今井直一筆

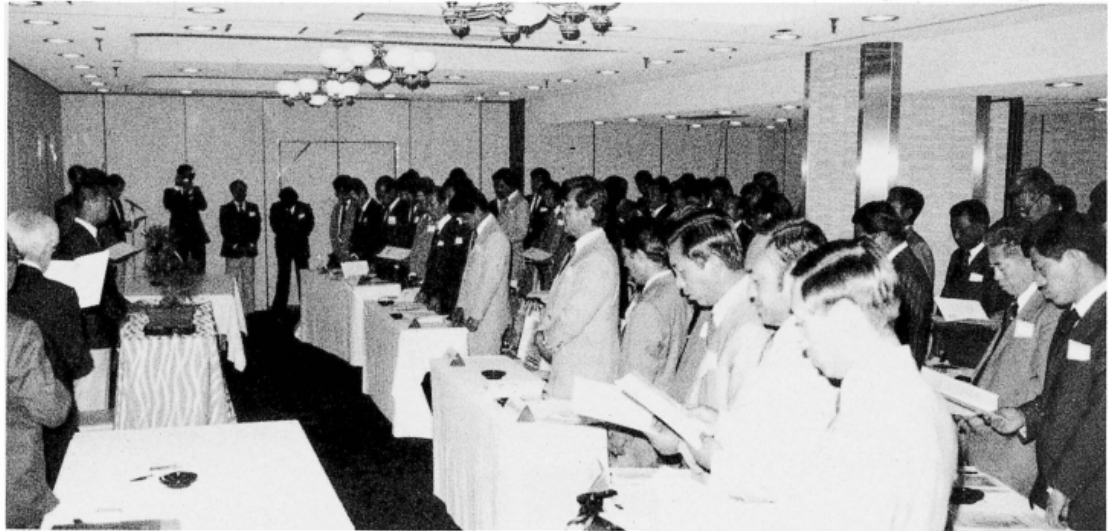


第23回
全国印刷
緑友会 定期総会



第23回全国印刷緑友会 東京総会
昭和55年5月10日 於 バンケットホール





全国印刷緑友会(飯田範夫会長)では、5月10日(土)午後1時から東京・池袋の東武バンケットホールで第23回定期総会を開いた。今回ホスト役をつとめた東京プロセス製版青樹会ほか全国23グループから約120名が出席し、昭和55年度事業計画と予算などを可決した。また次期総会は久留米印刷緑友会の担当により福岡県下で開かれることになった。

定期総会は地元の東京プロセス製版青樹会の石川正憲氏が司会、おなじく沢田一幸氏が開会宣言を述べて開かれた。議事に先だち全員の国歌斉唱につき、奥村利光氏(東京プロセス製

版青樹会)のリードで綱領を高らかに唱和した。

さらに当日の来賓として出席した全日本印刷工業組合連合会の久永舎春会長、日本写真製版工業組合連合会の唐沢喜文会長が紹介されたあと、全国から参加した北は北海道、南は沖縄におよぶ23グループが次々に紹介された。

次いで地元東京プロセス製版青樹会の田島一郎会長が「この総会を今後の限りない発展の契機にしたい」と歓迎の挨拶。さらに飯田会長は「いまこそ緑友会の必要性和価値を再認識し、われわれの活動が業界発展の一助になることを確認して、さらに盛んな活動を推進していきたい」と力強く挨拶した。

また来賓として出席した両業界団体会長は、「昭和33年に発足以来、組織の規模と内容両面で努力を重ねられ、業界のリーダーとして巣立った人も限りなく、それぞれの地域の業界発展に大きく貢献してきた」(久永全印工連会長)、「印刷と製版は車の両輪であるが、特に製版分野では技術革新がめざましく、エレクトロニクス全盛時代になった中で、われわれも若い業界人の活動を期待している」(唐沢日写工連会長)と祝辞を述べた。

祝辞のあと、前会長の作道亮雄氏(大阪青年印刷人クラブ)が議長になり議事に入った。審議は中村守利常任幹事提案による昭和54年度事業報告、小林直会計幹事による同決算報告を原案通り承認後、田中肇氏(東京プロセス製版青樹会)の監査報告をはさみ、飯田会長から昭和



55年度事業計画、小林会計幹事から同予算の両案が提案された。

このうち事業計画については、来る8月8、9日の2日間、仙台市で第23回全国大会を予定しているが、各グループから参加を徹底させるためにも、これに先だち全国グループ長会議を開き、情報交換や緑友会運営に関する提案などを検討する。また明春に予定されるセミナー開催については、主管グループの運営負担を軽くするため、今回から全国常任幹事会が準備にあたることにしている。

これらの事業実施に伴う予算額は2百17万9千4百29円で編成し、前年度繰越金と本年度同

予定額を加えた百万円を繰越基金に計上した。

最後に飯田会長から次期総会の開催地が提案され、来年は久留米印刷緑友会の主管で同地開催が決定した。

この結果、全審議がとどこおりなく進み、鈴木義彦氏（東京プロセス製版青樹会）が閉会の言葉を述べて定期総会を終えた。

総会の終了後、テレビの政治談議などでおなじみの岡野加穂留氏（明大教授）が講演、約1時間にわたって「成る経済と成らぬ政治」をテーマに、今日の政治家気質などをまじえて最近の動向を歯切れよく語った。

このあと全員が記念撮影をすませ、夕刻から

必要性と価値の再認識を

全国印刷緑友会会長 飯 田 範 夫

本日は全国各グループの指導的立場にある皆様のご参集を賜り、厚くお礼申し上げます。

80年代に入り、それまでの予測されていた以上の厳しさがあり、材料・経費・金利高・経営の見通し難等にくわえ、激しく揺れ動く国際情勢がからみ、まさに激変の時代であり、この混乱をどう切り抜けるか、容易ではない模索の時代とも言えます。

より深刻化した資源・エネルギー情勢は、我々の業界ばかりではなく、全ての業種にわたりがあってない危機に立たされており、昨年秋以降より多くの企業に収益のかげりがみえ始め、倒産も増加傾向にあると言われ、長い不況の中わずかに平穏な途を歩いていたものも、一領越えればまた一領と、道を拓いて進む努力が、いちだんと要求される時代となりました。

このような時にあって我々は、青年印刷人として、またグループのリーダーとして、いかなる事態にも臨機応変、適時適切な対応ができることを自ら図るとともに、会員相互の交流、拡大を図る必要があると思います。

緑友はこれまで地道な努力により、着実な成果をあげてきました。

このような時代に直面した今こそ、その必要

性と価値の再認識をし、我々の活動が業界発展の一助になることを信じ、より活発な活動を推進していきたいと考えます。

その意味からも、本日の総会において、全国各グループの代表である皆さんの持つておられる考え、ご意見を出していただき、十分な審議の中から本年度の緑友会運営の方向づけができますよう、ご協力をお願いいたします。

また東京プロセス製版青樹会の皆様方の、熱意ある主管に心からの敬意とお礼を申し上げ、本総会が緑友発展と、地域各グループの発展に価値ある総会として、形成が図られることを願う次第です。



懇親パーティを催してなごやかに歓談した。

[出席グループ名]

札幌青年印刷人の会・仙台刷親会・福島印刷彩友会・新潟印刷新世会・茨城緑友会・神奈川正和会・印刷同友会・千代田印刷人新世会・文京緑友会・東京写真製版若葉会・長野青年印刷人

緑友会・ぎふ印刷翠陽クラブ・名古屋而立会・大阪青年印刷人クラブ・神戸印刷若人会・広島青年印刷研究会・下関青年印刷人緑友会・福岡印刷若葉会・北九州YPクラブ・久留米印刷緑友会・大分印刷若梅会・沖縄県青年印刷若潮会・東京プロセス製版青樹会

昭和55年度(第23期)事業計画(案)

- | | |
|---|---|
| <p>1. 第23回定期総会の開催
昭和55年5月10日(土) 主管グループ東京プロセス製版青樹会(東京・バンケットホール)</p> <p>2. 全国グループ長会議の開催
昭和55年6月～7月</p> <p>(1) 全国大会参加について
(2) 各グループの現状と問題点の交換
(3) 緑友会運営についての提案審議</p> | <p>3. 第23回全国大会の開催
昭和55年8月8日(金)～8月9日(土)
主管グループ仙台刷親会(ホテル仙台プラザ)</p> <p>4. 緑友会セミナーの開催
昭和56年2月～3月</p> <p>5. 「緑友だより」の発行 2回
6. 第24回定期総会の準備
7. 常任幹事会の開催 必要に応じ適宜開催</p> |
|---|---|

昭和55年度予算案

(昭和55年4月1日～昭和56年3月1日)

収入の部

科 目	金 額	摘 要
前期繰越金	549,029	
会費収入	1,610,400	30G. 1042名
未収入金	20,000	
合 計	2,179,429	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
總會補助	250,000	
大會補助	350,000	
セミナー補助	200,000	
緑友だより	250,000	
会議費	250,000	
会計事務費	50,000	
慶弔費	50,000	
印刷費	30,000	
通信費	30,000	
会長出張費	150,000	
予備費及繰越予定額	569,429	
合 計	2,179,429	繰越基金1,000,000



第 全国印刷緑友会

23 回 仙台大会

●とき／昭和55年8月8日(金)・9日(土) ●ところ／ホテル仙台プラザ

参加要項

- 期 日 昭和55年8月8日(金)・9日(土)
- 会 場 ホテル仙台プラザ
- 会 費 25,000円(一泊、朝食・昼食)
- 松島観光 12,000円(一泊、二食・バス・船賃等)
- ゴルフ 13,000円(プレー費・昼食等賞品代を含む)
- 申 込 先 〒983 仙台市扇町三丁目9-12 宮城県印刷会館内
仙台刷新会(全国印刷緑友会仙台大会事務局)
- 振 込 先 七十七銀行六丁目支店 全国印刷緑友会仙台大会実行委員会
普通預金 No0249734
- 申込締切 昭和55年6月20日(金)

★星祭りの中で
より一層の
飛躍と連帯を

大会プログラム

8月8日(金)	登録受付	13:00~14:00
	大会式典	14:00~15:00
	記念講演	15:00~16:20
	記念撮影	16:30~17:00
	懇親会パーティー	17:00~18:30
	七夕まつり見物	18:30以後

8月9日(土)	朝食	7:00~8:30
	分科会	9:00~11:20
	閉会式	11:30~12:00
	昼食	12:00~12:30
	オプションツアー	13:00出発

松島湾観光の後、松島海岸にて一泊(希望者)

8月10日(日) ゴルフ大会《松島チサンカントリークラブ》(希望者)
(松島からゴルフ場及びゴルフ場から仙台駅までバスで送迎)

主催／全国印刷緑友会 主管／仙台刷親会

「80名古屋印刷文化典」名古屋而立会・担当

印刷・いまそしてあした、がテーマ

主婦・子供を対象に趣向こらす7つのコーナー

「80名古屋印刷文化典」のメイン行事の一つである印刷展は、名古屋而立会（浅井隆宣会長）が、企画から設営、開催までを一貫して担当して準備を進めている。

印刷展は10月9日（木）から12日（日）までの6日間、名古屋の中心部である栄の松坂屋リビンザ1階において開催する。展示テーマとしては80NAGOYA PRINTING FAIR「印刷・いまそしてあした、」を掲げ、内容は、日々の生活のなかで係わり合う印刷を中心に単なる展示だけでなく直接手に触れてもらい、色彩豊かにして楽しく見てもらえることを中心にしている。

具体的な展示内容については、

- (1) 印刷と子供
- (2) 印刷とファッション
- (3) 印刷と主婦
- (4) 印刷と未来
- (5) 印刷とは
- (6) 世界の秘蔵印刷物の展示
- (7) 各種印刷の実演



過去、第13回印刷文化典において名古屋而立会は印刷展を担当し成果を上げている。この実績を生かし、さらに印刷展を意味あるものにしようと会員一同取り組んでいる。印刷展の成否は明日の印刷業界の発展につながる。印刷を広く一般の人々に理解していただき、業界発展の礎となるような印刷展にしたい。と全員はりきっております。是非ご覧いただきたくご案内申し上げます。

●編集だより

緑友だよりNo. 46をお届けします。本号は、過日東京で開催されました定期総会を中心にまとめ、8月8日、9日と仙台で開かれます仙台大会の案内もしておりますので、一読下さい。また、手前みそですが、緑友だよりの誌上を借りまして、10月に名古屋で開催されます80名古屋印刷文化典におきまして、私共名古屋而立会が印刷展を担当することになり、会員47名が全

力投球しております。そのアウトラインを紹介してみました。10月には名古屋へおこしいただきまして而立会が行ないました印刷展を是非ご覧いただければと思います。

（名古屋而立会編集・発行）

全国印刷緑友会機関誌

東京都杉並区和田1-29-11(社)日本印刷技術協会内
発行人=飯田範夫 編集人=浅井隆宣